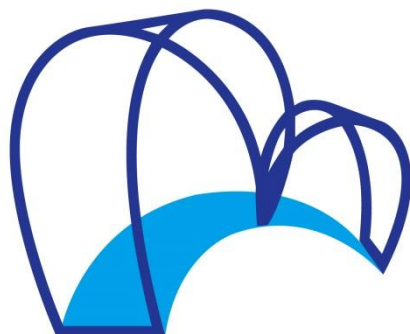


年度計画とその進捗状況について



NIT, Maizuru
KYOTO

平成27年1月13日

舞鶴工業高等専門学校
外部評価委員会資料

中期目標の設定

独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第29条の規定により、独立行政法人国立高等専門学校機構（以下「機構」という。）が達成すべき業務運営に関する目標（以下「中期目標」という。）を定める。

機構は、…

……… 省略 ………

……… 専門的かつ実践的な知識と世界水準の技術を有し、自律的、協働的、創造的な姿勢でグローバルな視野を持って社会の諸課題に立ち向かう、科学的思考を身につけた実践的・創造的技術者を養成することにより、高等学校や大学とは異なる高等専門学校の本来の魅力を一層高めていかなければならない。

また、産業構造の変化、技術の高度化、少子化の進行、社会・産業・地域ニーズの変化等、社会状況の変化や ……… 省略 ………

、地域及び我が国全体のニーズを踏まえた新分野への展開等のための教育組織の充実等が求められていることを踏まえ、法人本部がその機能を発揮し、イニシアティブを取る必要がある。

こうした認識のもと、各国立高等専門学校が自主的・自律的な改革により多様に発展することを促しつつ、一方で法人本部が更にイニシアティブを発揮し、ガバナンスの強化を図ることにより、大学とは異なる高等教育機関としての国立高等専門学校固有の機能を充実強化するため、機構の中期目標を以下のとおりとする。

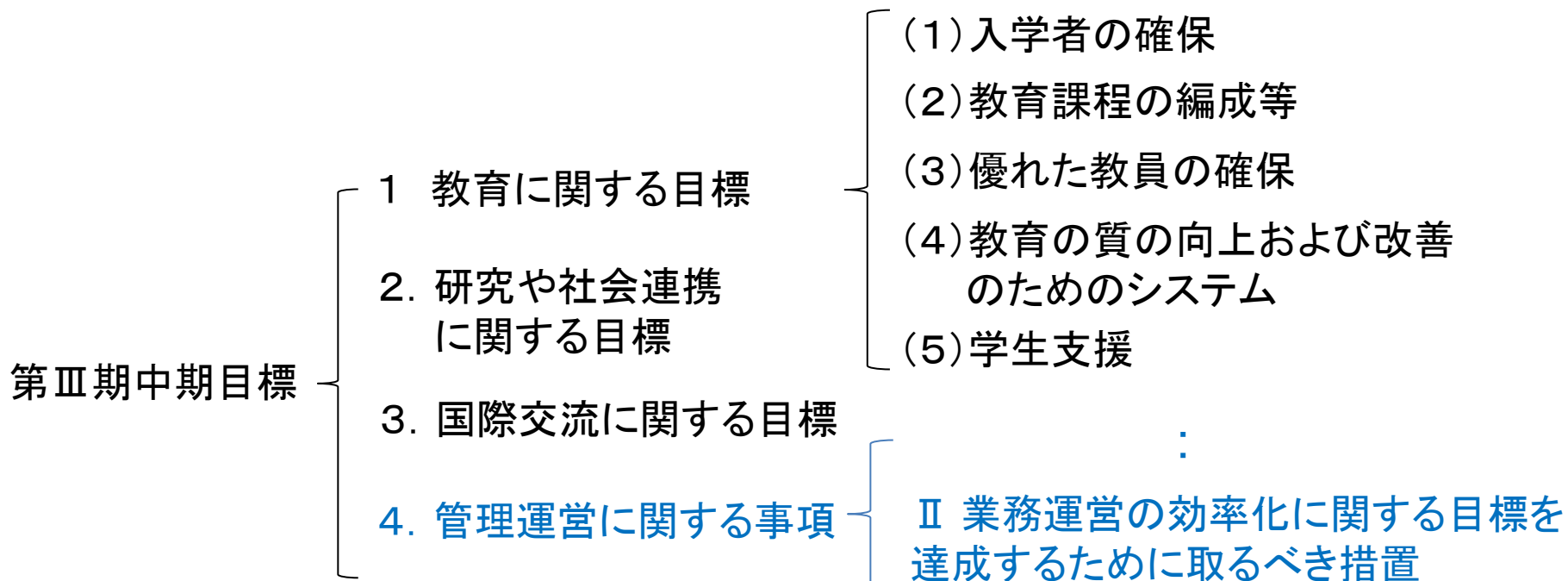
中期目標の期間と内容

国立高専 → 独立行政法人

第Ⅰ期中期目標：平成16年4月1日～平成21年3月31日（5年間）

第Ⅱ期中期目標：平成21年4月1日～平成26年3月31日（5年間）

第Ⅲ期中期目標期間は、平成26年4月1日から平成31年3月31日までの5年間とする。



中期目標の設定と実行

平成26年度計画の策定(企画室:4月)



各部門・学科, 委員会等への周知(5月初旬)



年度計画の最終取りまとめ(5月中旬)



Plan

Do

各部門・学科, 委員会等が計画を実施する(5月中旬～年度末)



中間フォローアップ(11月:配布資料)



Check

年度末の成果の取りまとめ
(H26年度終了:機構へ報告)

Action

平成27年度計画



<p>中期計画(舞鶴高専)</p>	<p>平成26年度 年度計画(舞鶴高専)</p>	<p>どれだけ実行できたか? 平成26年度 年度計画 フォローアップ(舞鶴高専)</p>
<p>(1) 入学者の確保 ① 中学校長や中学校PTAなど地域内の教育組織への広報活動を行うとともに、<u>メディア等を通じた積極的な広報</u>を行う。</p>	<p>(1) 入学者の確保 ① 広域な校区に適した受験生確保のための入試広報、特にホームページを利用した情報発信、学校案内の電子化などに取り組む。京都府全体をカバーするFM放送による広報も引き続き行う。 特に、延べ200校以上の中学校を本校教職員が実際に訪問し、本校への受験を案内する。 新しく高専祭に中学生を招く「高専祭キャンパスウォーキング」を実施する。</p>	<p>ホームページでは、入試案内のページを設け、募集要項、入試説明会の案内、入試過去問等を掲載し情報発信を行っている。オープンキャンパス実施前に、FM放送による広報活動を行った。 中学校訪問では、京都府、滋賀県、兵庫県、福井県などの104校を訪問し、重点校90校は2度にわたり訪問している。 11月1日に「高専祭キャンパスウォーク2014」を新しく実施した。17組の参加者があり、中学生や保護者に本校の高専祭を実際に見ていただき、本校の教育についての理解と関心を深めていただいた。</p>
<p>② 中学生が国立舞鶴工業高等専門学校の学習内容を体験できるような入学説明会、体験入学、オープンキャンパス等をさらに充実させ、特に女子学生の志願者確保に向けた取組を推進する。</p>	<p>②女子中学生向けパンフレットを引き続き作成し、パンフレットの活用状況調査を実施する。 また、女子中学生対象の一日高専体験会を引き続き実施する。</p>	<p>高専女子百科Jr.を作成し、オープンキャンパス等で女子中学生対象に配付した。 12月7日に女子中学生一日高専体験会の実施を予定している。 11月21日現在22組の申込がある。</p>
<p>説明: 13頁</p>		
<p>③ 中学生やその保護者を対象とする広報資料を作成する。</p>	<p>③高専機構本部及び本校で作成するパンフレットを入試広報活動に活用する。</p>	<p>オープンキャンパス、入試説明会のパンフレットを作成し、近隣の中学校に送付した。 学校案内、学校概要を作成し、オープンキャンパス・入試説明会等で配付した。また、「キラキラ高専ガールになろう」「高専女子百科Jr.」を参加女子学生に配付した。</p>
<p>④ ものづくりに関心と適性を有する者など国立高等専門学校教育にふさわしい人材を的確に選抜できるように適切な入試を実施する。</p>	<p>④アドミッションポリシーにふさわしい人材を適確に選抜できるような方式によって入試を適切に実施する。</p>	<p>入試広報の段階から、学校概要、入試説明を行う際には、アドミッションポリシーに関する説明を必ず実施し、入試時においては、面接にてアドミッションポリシーにふさわしい人物かどうかの見極めを行っている。</p>
<p>⑤ 入学者の学力水準の維持に努めるとともに、女子学生等の受入れを推進し、<u>入学志願者の質を維持する</u>。</p>	<p>⑤「入学者の学力把握状況調査」結果を入試委員会で検討する。 また、「入学志願状況調査」を実施し、男女別の入学志願状況を入試委員会で検討する。 さらに、女子学生の修学環境の改善のため、女子寮、女子トイレ、女子更衣室等の整備を推進する。</p>	<p>オープンキャンパス実施後、過去4年分の参加者数における志願者数相関表を作成し、入試委員会で分析を行った。志願者確保のための取組については、入試広報ワーキンググループを新たに設置し、戦略的、効果的に取り組んでいこう計画している。 女子寮生の修学及び生活環境向上のため、物干し台・物干し竿の設置、ウォーム便座の設置を予定している。 女子学生の要望に基づき、本館棟のトイレ修理、テクノセンターの男子トイレの扉設置、第1体育館女子更衣室のシャワー改修を行った。</p>

男女共同参画の推進について

女子学生交流会(事例1)

日時:6月26日(木)

対象:本校の女子学生

目的:この交流会は、男女共同参画社会の推進を目指し、女子学生の過ごしやすい学校を実現するために女子学生支援の情報提供を行うこと、および学校環境改善についての意見を挙げることを目的として、H25より実施している。



当日は本科・専攻科の女子学生68名が参加し、学校の設備や行事の改善について活発な話し合いが行われた。



女子学生達の意見の収集



女子学生達の意見を今後の学校の改善(女子学生がより快適に学べる修学環境)に取り入れている。取り組み事例を以下に示す。

- ・B棟2階の**女子トイレの改修**(H26.8月)
- ・体育館の**女子更衣室の改修**(H26.8月, ガス湯沸かし器を交換してシャワーを使用可能にした。)
- ・高学年棟**男子トイレのドアを改修** など。

男女共同参画の推進について

高専女子フォーラムin関西(関西の5高専)(事例2)

日時: 12月23日(火)

場所: 神戸市産業振興センター

対象: 企業関係者や中学生・保護者

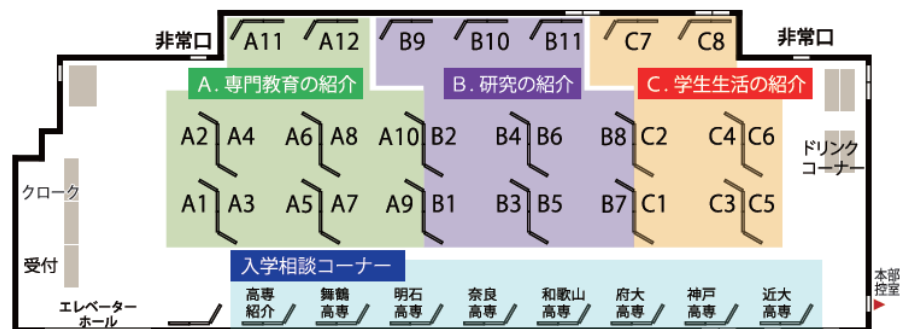
目的: 近畿地区高等専門学校における**学生支援活動の一つ**として、**女子学生のキャリア教育の場**とするとともに、高専女子学生による研究紹介、学生生活紹介、高専教育紹介を通じて、高専女子学生の実力を企業関係者や中学生・保護者に向け発信する場とするものである。

女子高専生発表のプログラム【12:00~15:05】

12:00~13:30 中学生とその保護者を対象とした高専女子学生によるポスター発表、入学相談

13:50~15:05 企業関係者を対象とした高専女子学生によるポスター発表

女子高専生発表時の会場案内図



男女共同参画の推進について



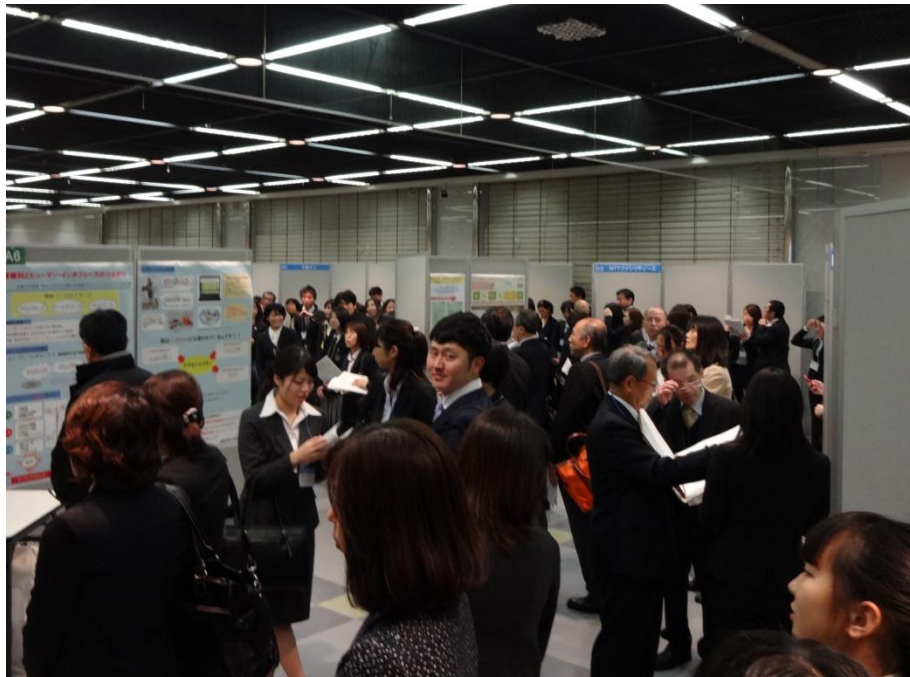
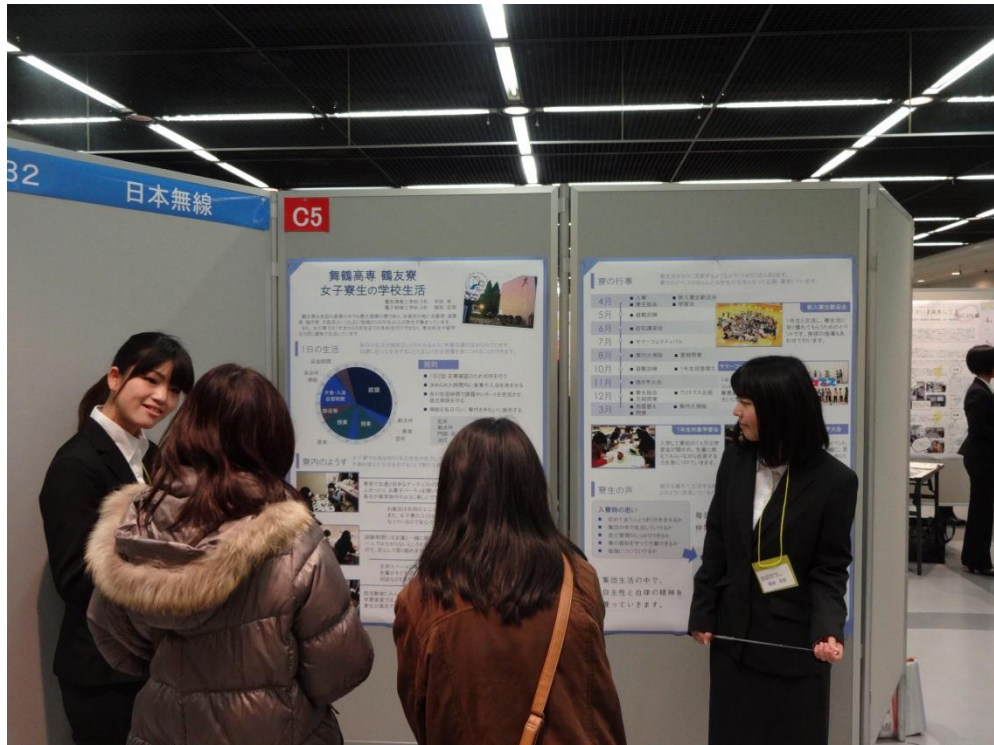
題目:「地域の課題解決の実現を
目指したグループワーク型授業」

発表者: 4E岸本奈々さん、
4E早水さゆりさん

題目:「どぼじょ・建築ガールの歩みin舞鶴」

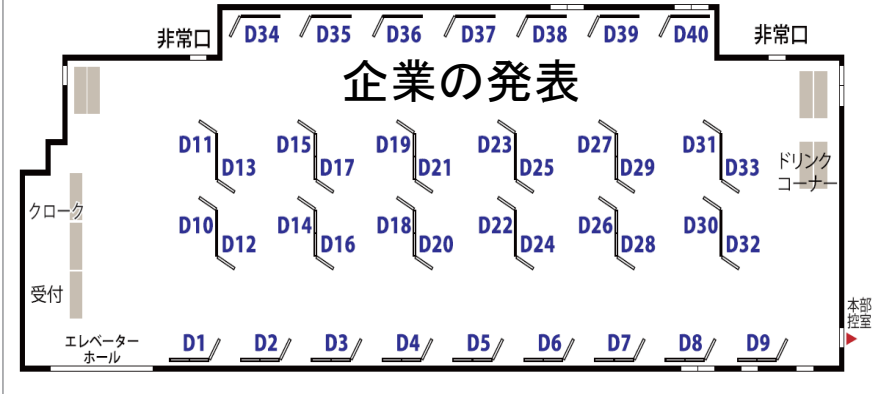
発表者: 4C(都市環境)内藤千尋さん、
4C(建築コース)福德真奈美さん

男女共同参画の推進について



題目：「舞鶴高専鶴友寮女子寮生の学校生活」

発表者：5E平田栄さん(女子寮長)、
3S稲垣百那さん



男女共同参画の推進について

女子中学生一日高専体験会（事例3）

日時：12月7日（日）

対象：女子中学生と保護者（60名余）

目的：女子中学生が学科毎に開催する実験・実習に参加し、舞鶴高専の教育内容を知ってもらう。 **女子中学生と現役女子学生（本校のOG）との交流をはかる。**



現状の進捗状況と今後の課題

- ・平成26年度舞鶴高専年度計画に対して、平成27年1月13日時点において、9割以上がフォローアップできている。
- ・特に地域貢献(COC事業)や、教育課程の再編(専攻科)に力を入れている。本校の特色でもある①キャリア教育および②海外交流(4年生全員の海外研修旅行、海外大学インターン)など、大きな規模で継続的に実施されている。
- ・一方、女性教員の採用数(計画)や高専・技科大間教員交流制度、在外研究員や内地研究員制度の計画が実行できなかった。これは、人事面の実際の難しさと教員の繁忙さが原因にある。

Topic 1

大学COC事業の取り組みについて

舞鶴高専 副校長
平地克也

大学COC事業とは

地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)

COC: Center Of Community

文部科学省の事業

→ 地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める
大学等を5年間にわたり支援する事業

申請: 319件(うち高専から13件)

H25年度

採択: 52件(うち高専から2件: 広島商船高専・舞鶴高専)

申請: 237件(うち高専から19件)

H26年度

採択: 25件(うち高専から1件: 八戸高専)

共同申請大学と連携自治体

＜京都工芸繊維大学と舞鶴高専＞

包括協定締結(H19年)

目的:教育・研究・地域貢献

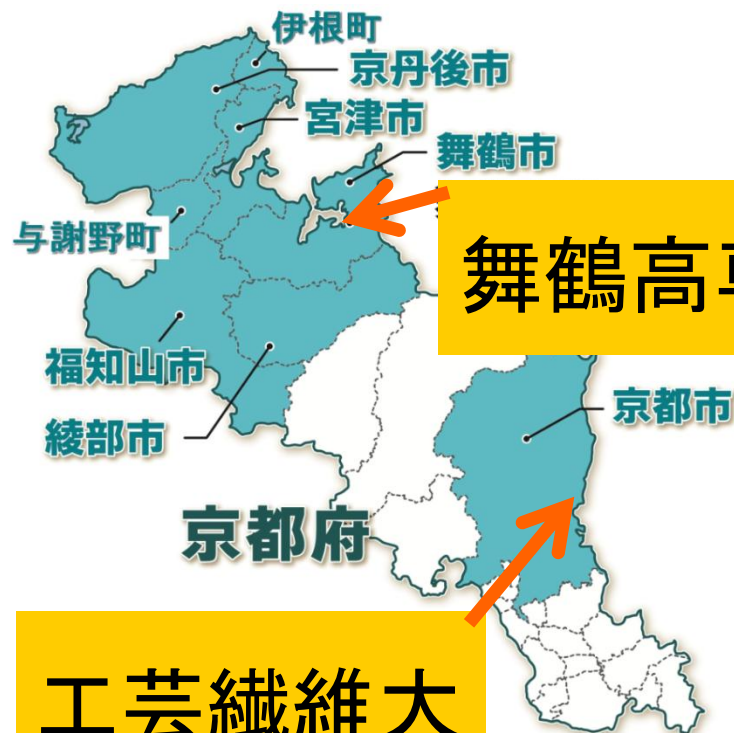
の推進

COCに共同申請



採択

連携自治体

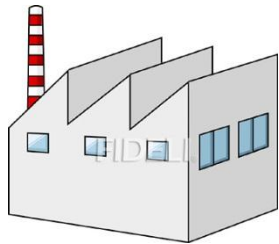


舞鶴高専

工芸繊維大

地域の特徴

京丹後市
丹後ちりめん
↓
機械金属工業



福知山、綾部の
工業団地

宮津周辺の
観光資源



原子力発電所



舞鶴の港湾、造船



舞鶴高専が対象とする地域
には、様々な歴史的背景と
産業・文化がある。

産官学連携体制の強化

自治体、産業団体と連携協定を締結



<舞鶴市と連携協定を締結>



<丹後機械共同組合と
連携協定を締結>

産官学連携体制の強化

舞鶴高専地域テクノアカデミアを設置

地域産業界との連携を強化し、教育・研究を振興する組織。

2014年3月設立。

会長：日進製作所 錦織会長、副会長：日東精工材木社長

会員企業：21社



設立総会



舞鶴高専見学会



第2回総会

地域を志向した教育の取り組み

H26年度地域関連授業(18件)

共通	工学基礎
人文	地域学 I・II
機械	入門機械実習 I・II 情報処理 II 創造設計製作 機械工学実験 I・II
電気情報	創造工学 卒業研究(3教員)
電子制御	卒業研究(3教員)
建設システム	建設システム工学概論 I・II 卒業研究(1教員)
専攻科	エネルギー環境学 メンテナンス工学 建築耐震工学 まちづくり学 エンジニアリング・デザイン演習 特別実験(2教員)

地域を志向した教育の取り組み

◎エンジニアリングデザイン演習

地域の企業技術者から製品開発を学ぶ。



◎まちづくり学

舞鶴市の地域を特定し、
まちづくり提案を行う。



◎創造工学

舞鶴市観光商業課と連携してシステム開発。



地域貢献の取り組み

◎小中学校へへの出前授業

電子工作やプログラミングなど
多数のテーマあり。



◎地域防災教育

放射線の測定、検出の出前授業



◎商店街サテライトラボ

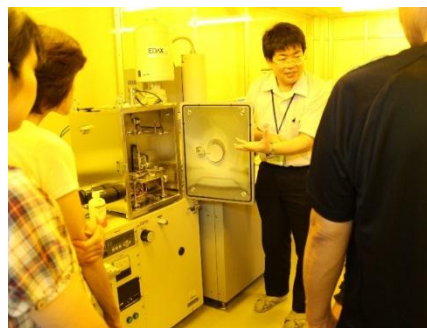
空き店舗を使い、地域貢献の
拠点に。



地域貢献の取り組み

◎ナノテク公開講座

ナノテク設備の見学、体験



◎舞鶴支援学校との協力

車椅子や養護用備品の改良



2014年度実績(12月まで)

公開講座: 33回

出前授業: 24回

地域を志向した研究の取り組み

地域の企業との共同研究

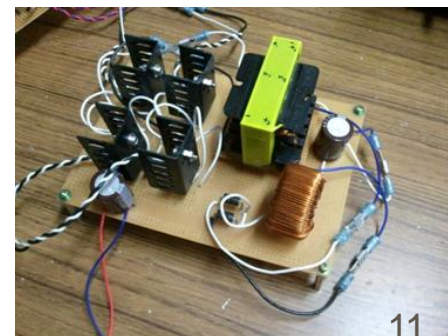
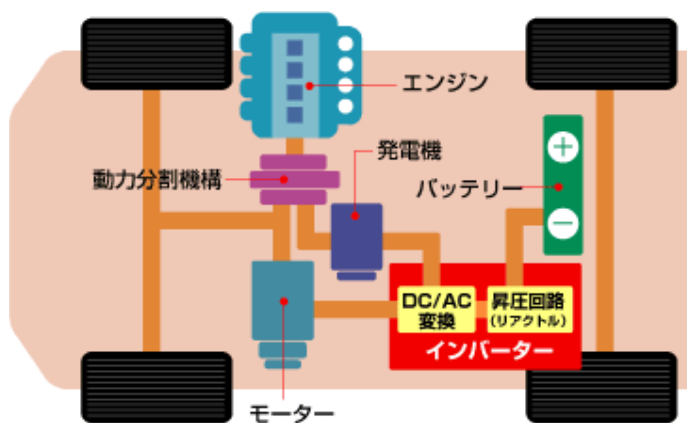
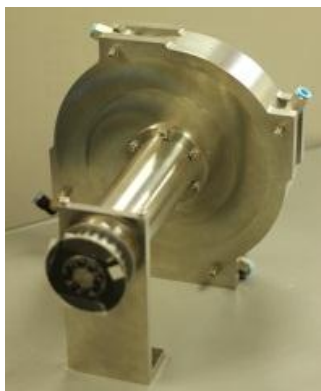
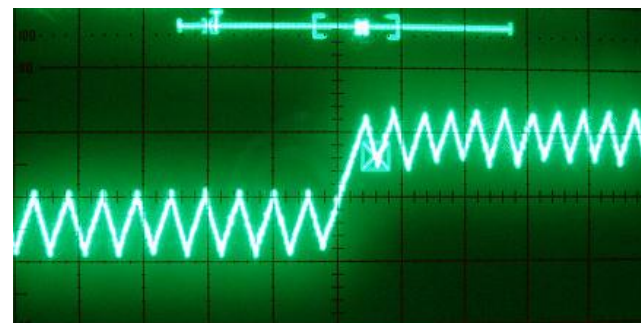
ニチコン亀岡：電気自動車・ハイブリッド車用電力変換装置

日立造船舞鶴事業所：マイクログリッド

丹後機械共同組合：テスラタービン

日東精工：ネジとネジ用金型の開発

など。



地域を志向した研究の取り組み

社会基盤メンテナンス教育センター



2014年1月

社会基盤のメンテナンスに関する研究・教育の拠点として開設。
橋梁部材などの劣化サンプルの収集と研究・教育への活用。



地域志向教育を目指した 専攻科再編について



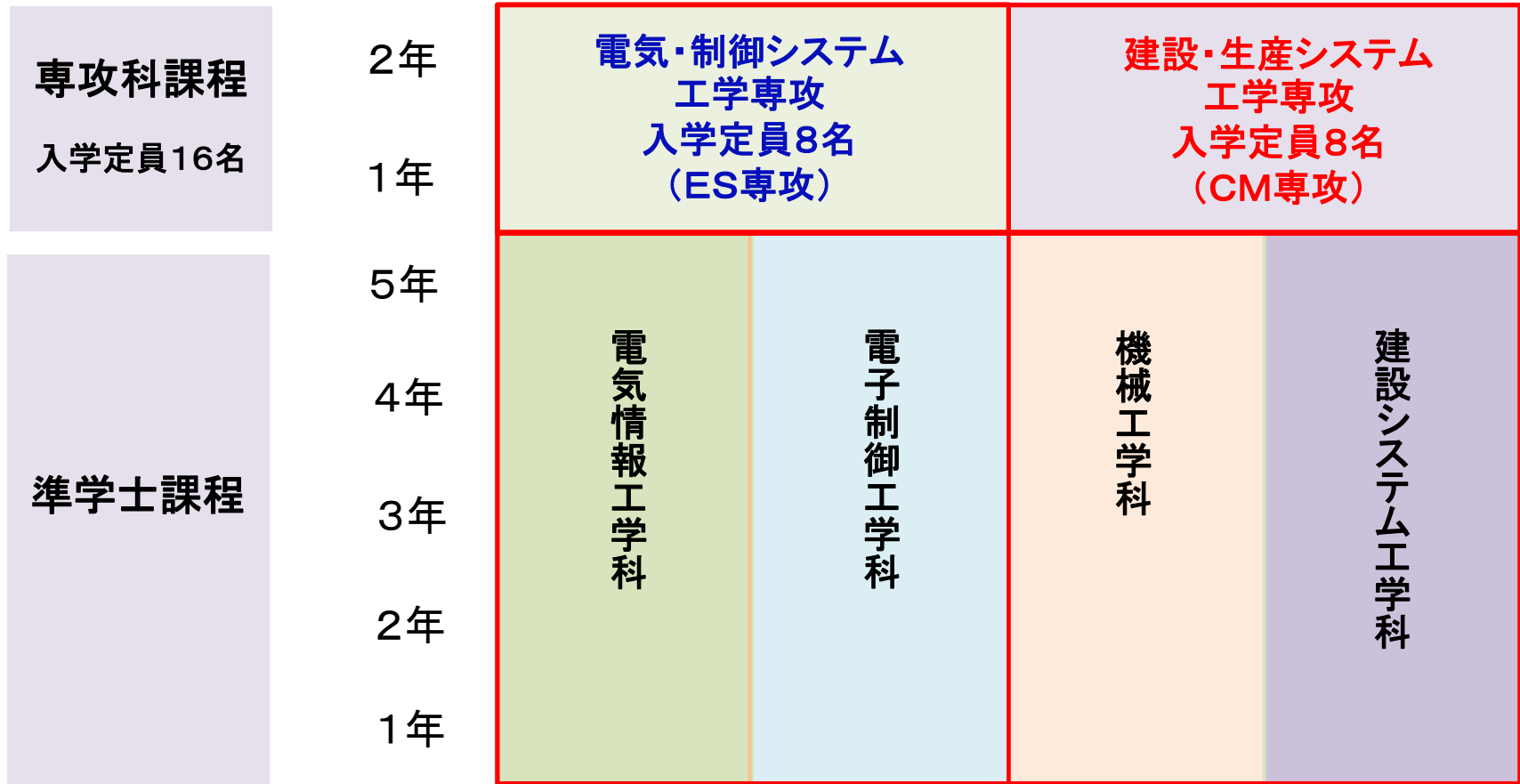
平成27年1月13日

舞鶴工業高等専門学校
外部評価委員会資料

目次

1. 専攻科の現状と問題点
2. 地域志向に根ざした専攻科再編
3. 専攻科修了者像および各専門コースの目的
4. 今後の課題

1. 専攻科の現状と問題点

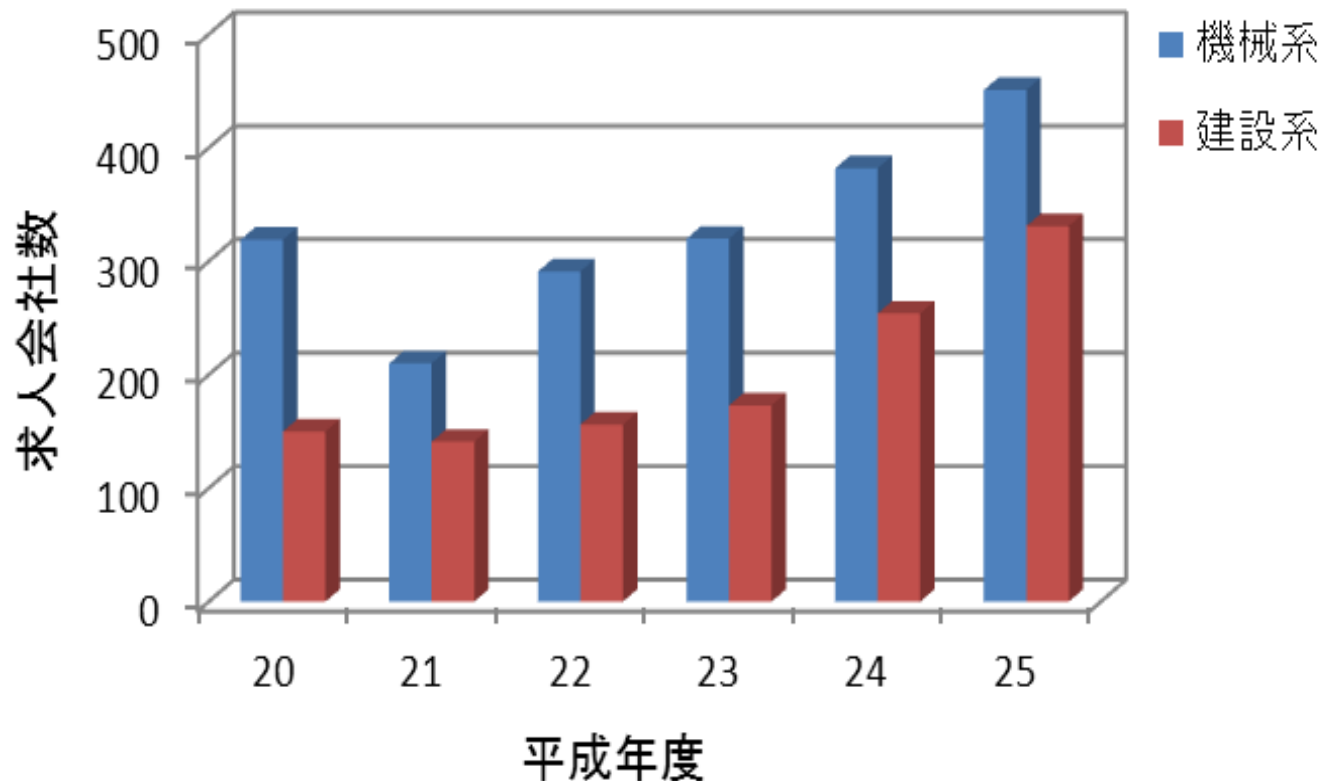


舞鶴高専・専攻科の現在の教育システム

1. 専攻科の現状と問題点

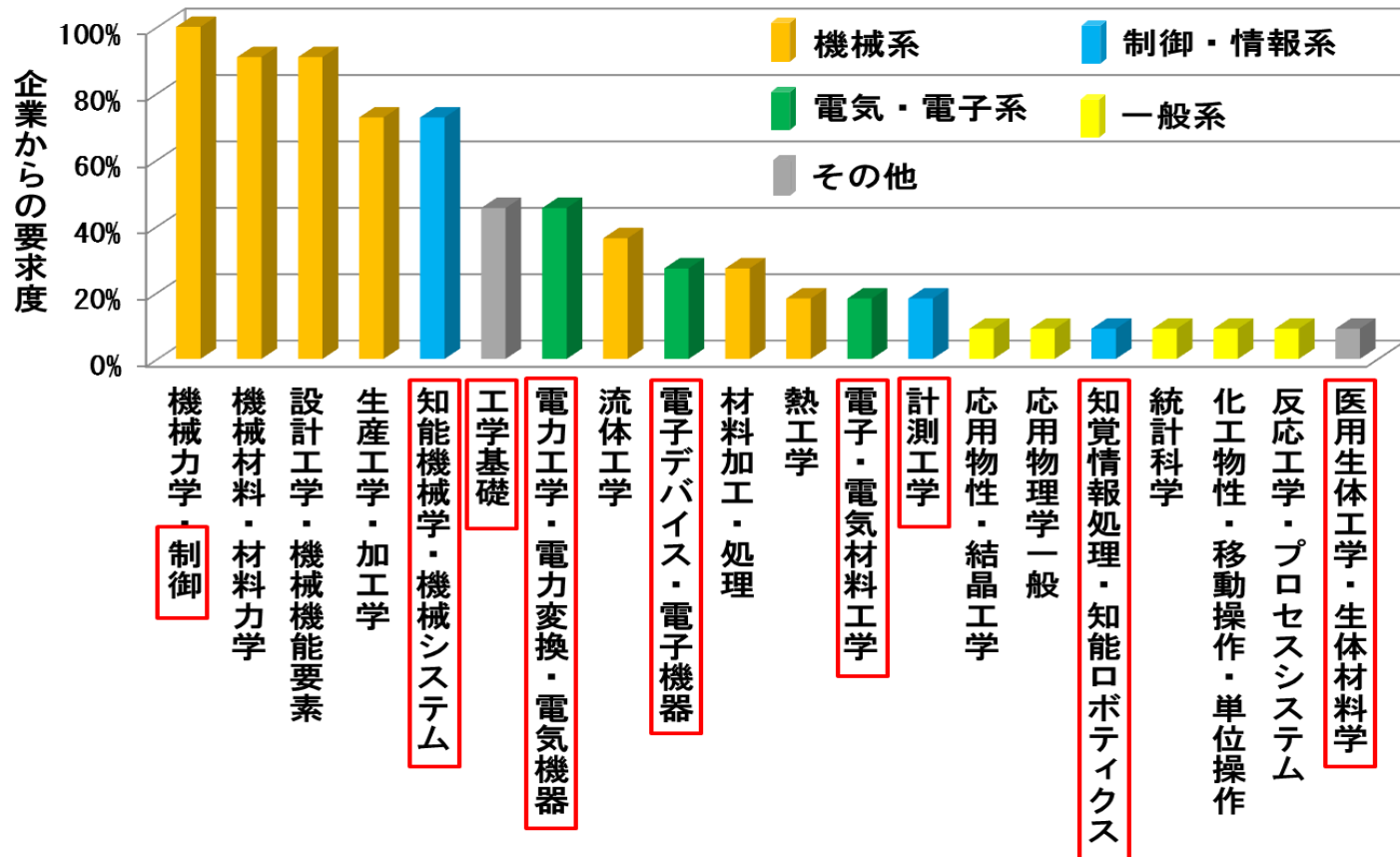
- 建設システム工学科のコース制により、CM専攻の学位の区分が「**機械工学**」「**土木工学**」「**建築学**」の三つになった。
- **機械工学**と**建設工学**の融合は求められていない。
- 会社等からの求人は、**機械系**と**建設系**に分かれている。
- 進路指導も、**機械系**学生と**建設系**学生に分けて行っている。

1. 専攻科の現状と問題点



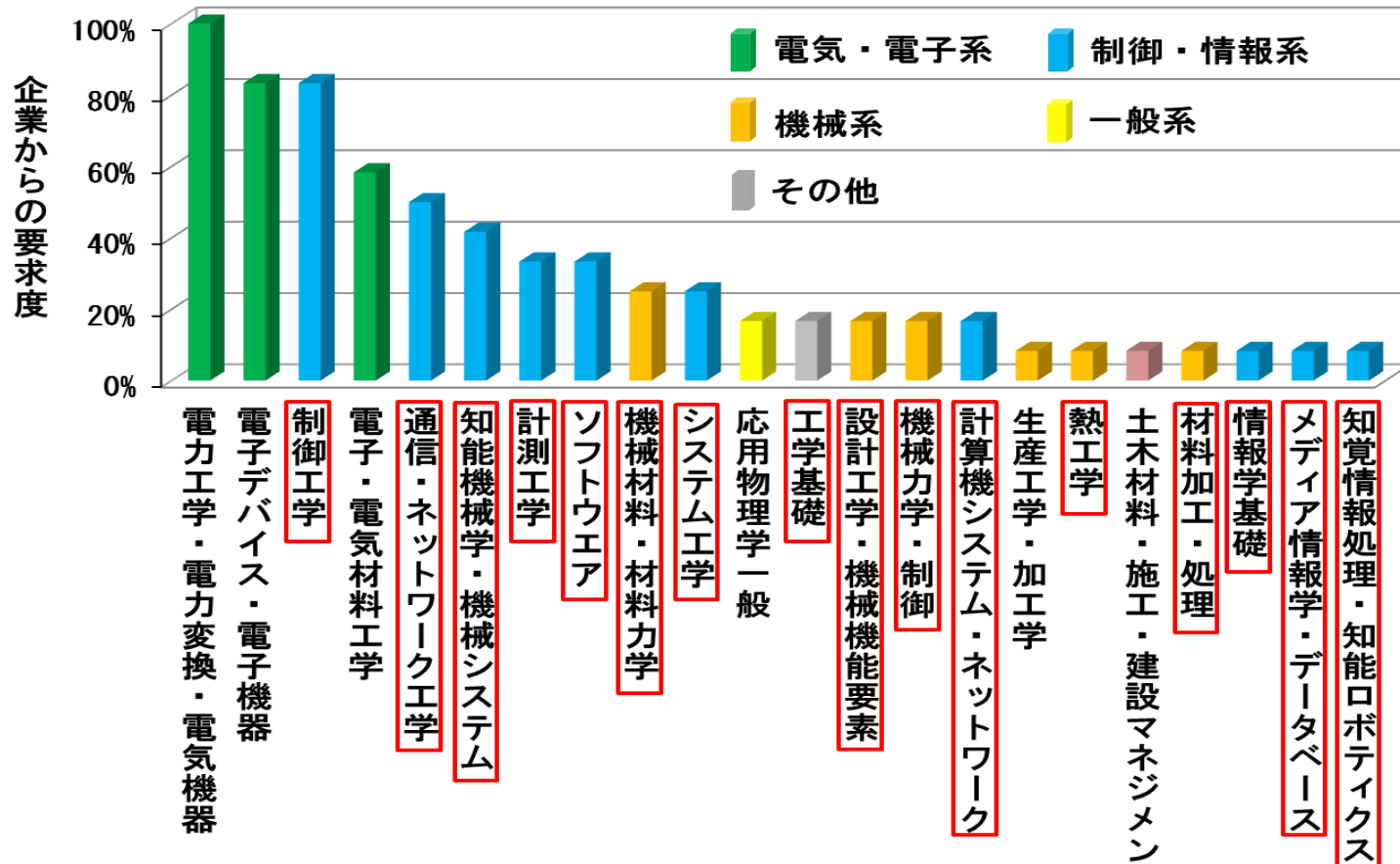
機械系と建設系の求人会社数の推移

2. 地域志向に根ざした専攻科再編



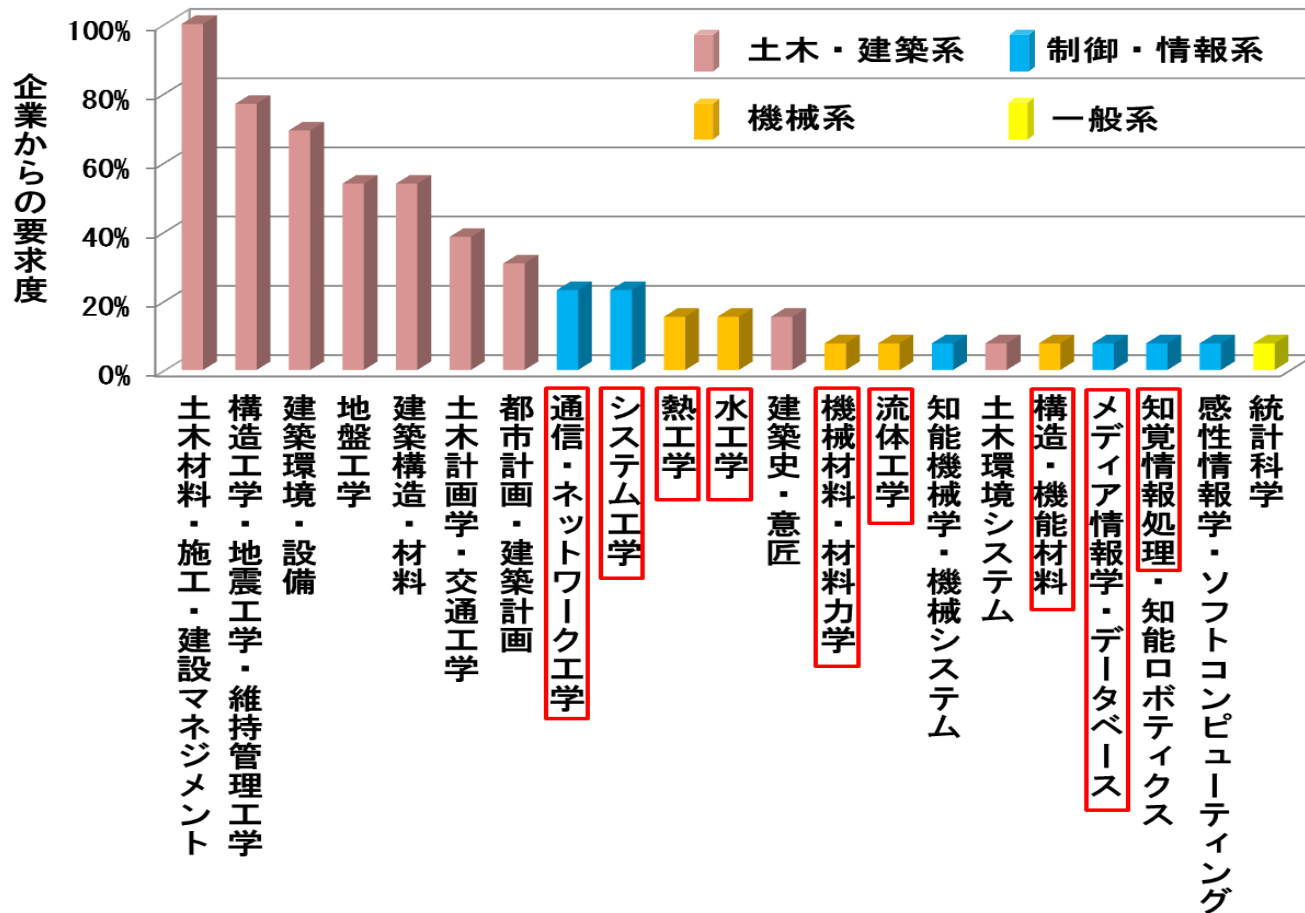
アンケート結果：**機械系**人材に求められる能力

2. 地域志向に根ざした専攻科再編



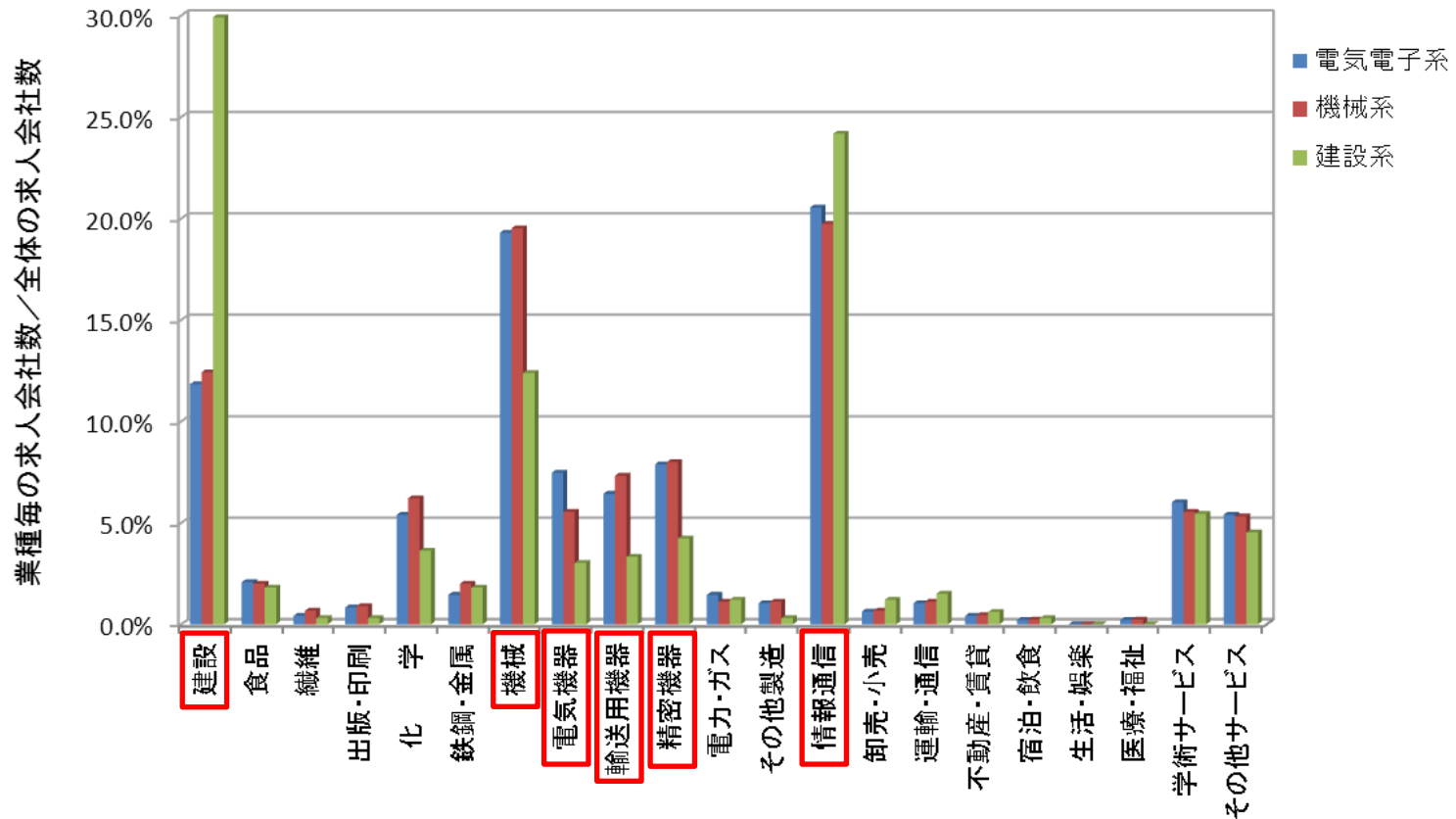
アンケート結果：**電気電子系**人材に求められる能力

2. 地域志向に根ざした専攻科再編



アンケート結果：**建設系**人材に求められる能力

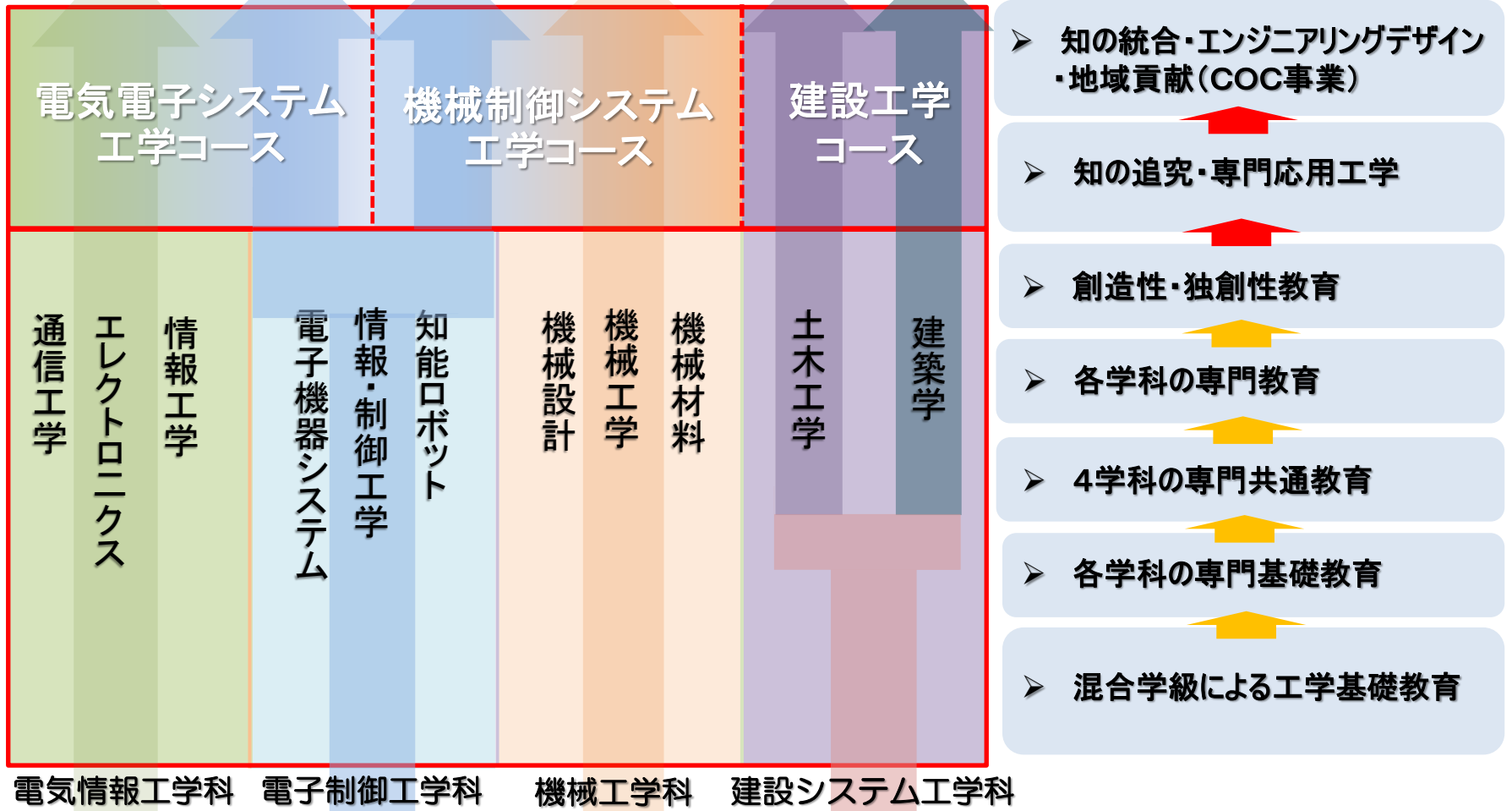
2. 地域志向に根ざした専攻科再編



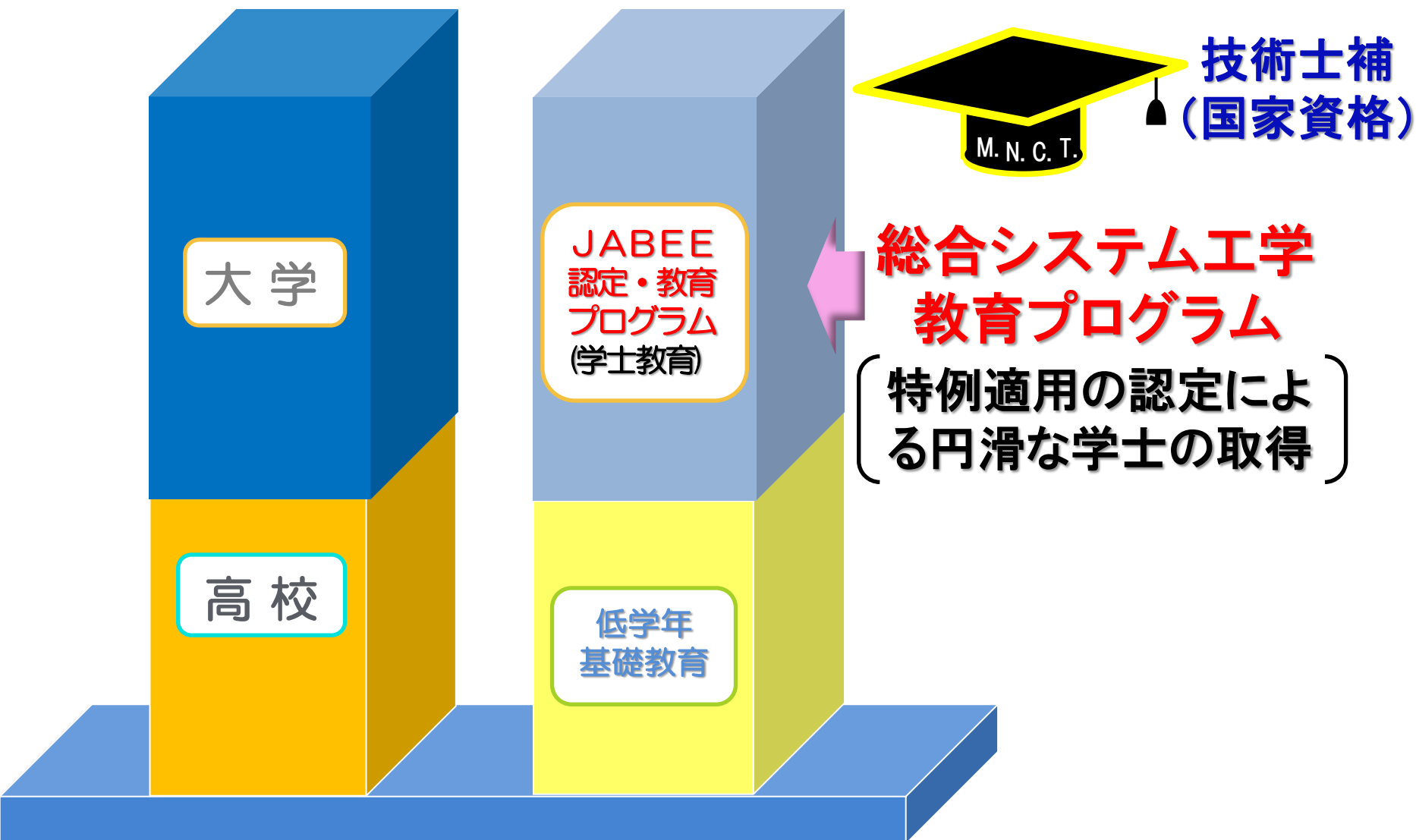
業種別にみた場合の求人会社数

2. 地域志向に根ざした専攻科再編

専攻科・総合システム工学専攻



2. 地域志向に根ざした専攻科再編



3. 専攻科修了者像

(1) **実践的な技術者**として、幅広い工学の基礎と深い専門領域の学識を修得し、これらを**エンジニアリングの実務と技術革新**に活用できる。

(2) **技術開発力のある技術者**として、課題の発見とその解決に取り組む**探究能力、粘り強いチャレンジ精神と創造力**を身につける。

(3) **21世紀の地球人**として、多面的な視点から社会の様々な問題に関心をもち、そのあり方を問うことのできる**素養と国際感覚**を身につける。

(4) **職業人**として、人間性豊かな調和のとれた**思考力**と、それに基づく**実行力**を備え、**自ら考え行動**できる。

3. 専門コースの目的

○電気電子システム工学コースの目的

本校の電気情報工学科または電子制御工学科で修得した、もしくはこれらと同等の基礎学力と専門知識に基づき、**電気・電子工学、情報・通信工学、制御工学等**に係わる、より高度で実践的な最新の技術教育を行い、電気電子物性および電力・制御・情報通信システム等の分野で活躍し、**地域の発展のために地域社会に貢献**できる**独創性豊かな研究開発型の技術者の育成**を目指す。

3. 専門コースの目的

○機械制御システム工学コースの目的

本校の機械工学科または電子制御工学科で修得した、もしくはこれらと同等の基礎学力と専門知識に基づき、**先端材料、流体工学、熱工学、制御技術およびメカトロニクス等**に係わる、より高度で実践的な最新の技術教育を行い、**機械システム、制御システム等の分野で活躍し、地域の発展のために地域社会に貢献**できる**独創性豊かな研究開発型の技術者の育成**を目指す。

3. 専門コースの目的

○建設工学コースの目的

本校の建設システム工学科で修得した、もしくはこれらと同等の基礎学力と専門知識に基づき、**構造・耐震、建設材料、地盤、水圏環境、防災、まちづくり、建築設計、建築環境、建設計画等**に係わる、より高度で実践的な最新の技術教育を行い、**環境やエネルギー**に配慮した自然災害に強い安全な社会基盤および建築物の**設計・施工・維持管理等**の分野で活躍し、**地域の発展のために地域社会に貢献**できる**独創性豊かな研究開発型の土木・建築技術者の育成**を目指す。

4. 今後の課題

1. 専攻科一体とした**地域貢献・地域志向教育**の推進（**COC事業**の充実と推進）
2. イノベーションを起こすことのできる**創造能力**の育成（**エンジニアリング・デザイン能力**の育成）
3. **グローバル人材**の育成（**国際的コミュニケーション能力**）
4. 新体制における**特例適用**および**JABEE認定**（**研究力、自己点検・改善力**）